

「スカウトの日」活動内容のご紹介

地域清掃や植林活動、社会福祉施設の訪問など敬老の日にちなんだ活動、人権・平和・国際理解をテーマとした活動、地域のニーズによる地域の方々と共にを行う身近な奉仕活動、また、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための活動などが、積極的に行われるなどを奨励しています。2019年度の活動報告から、活動テーマに沿った活動をご紹介します。毎年作成し、全団に送付している「スカウトの日」実施報告書もご覧いただき、隊や団の活動計画の参考にお使いください。

環境保全・環境美化の活動

地域清掃や近隣の街路樹植樹などの環境美化活動に長年取り組んでいます。近年では地元NPOと協力した河川の生態調査やマイクロプラスチック回収なども実施しています。

19年もの期間、テーマ「スカウトカントリー（缶トリー）大作戦」を掲げ、地域に密着した清掃活動を続けてきたことから、現在も67%の団がこの活動分野を選択しています。

＜事例紹介＞ - 茨城県連盟 土浦第5団 -

茨城県霞ヶ浦の水質汚染について、その原因の一つであるプランクトンを顕微鏡で観察し、加えて霞ヶ浦の環境について、職員の説明を受け環境保全に関して学習しました。



社会奉仕活動

環境とはまた異なる分野の社会問題に対する支援や協力も取り組みの一つです。実施日が敬老の日であることからデイケアセンターなどの訪問なども昔から取り組んできました。

環境保全に次いで17%がこの活動分野を選択し、養護老人ホームとの交流イベントの実施、市民運動会や障がい者スポーツ大会の奉仕、防災イベントのプログラム提供などを行っています。

＜事例紹介＞ - 新潟県連盟 加茂第1団 -

第39回「国民文化祭～にいがた2019」で、スカウト自ら書いたウェルカムメッセージカードの入った案内チラシを配る奉仕活動を行いました。



一般児童を招待して展開する活動

スカウト活動を知っていただく機会として、広く一般児童やご家族に対して展開する活動にも取り組んでいます。地元イベントに出演協力したり、団独自でイベントを開催しています。

地区や団におけるスカウト体験活動を展開する内容が多く、防災キャンプ、丸太切り、ロープ結び、スタンプラリーなどその内容は多岐にわたっています。

＜事例紹介＞ - 長野県連盟 松本第4団 -

地域のこども向けの当団独自イベント「わんぱくランド」を開催し、小学校低学年の児童、幼稚園/保育園の園児を対象に「スタンプラリー」を実施しました。



国際貢献に関する活動

人権・平和・国際理解を目的として、諸外国と関わりのあるNPOとの協働プログラムや世界の環境破壊・絶滅危惧の動植物への理解を深めるプログラムにも積極的に取り組んでいます。

長年協力しているユニセフ募金の取り組みを本活動として実施する他、友好団とのプログラム、難民支援衣料回収プロジェクトへの参画として衣類回収協力も行っています。

<事例紹介> - 沖縄県連盟 豊見城第1団 -

兄弟隊のBSAカブ1隊を招いて、日米協働で近隣清掃を行いました。最後に国際交流ソーメン流し＆かき氷大会を実施して日本の食文化を紹介しました。



災害復興支援の活動

今年も全国各地で、また海外でも気候変動や自然の脅威による災害が発生しました。自分たちにできる取り組みとして、現地でのボランティア活動に限らず、義援金・支援募金も多く実施しています。

今年は特に水害などの自然災害への支援募金が多く実施され、ベンチャーやローバースカウト・隊や団指導者による地元や近隣県へのボランティア活動に取り組みました。



<事例紹介> - 宮崎連盟 都城第1団 -

武雄市社会福祉協議会が募集した災害ボランティア活動に参加し、被害者の要望に合わせて浸水被害のあった住宅の泥出しなどの清掃支援を実施しました。

各団、地区、県連盟の独自の活動

地域ごとの文化や歴史に応じた多彩なプログラムに加え、スカウト一人ひとりが今の地球上に起こっている問題について考え、行動することを期待して独自性に富んだ活動も推奨しています。他の活動分野とも関連付けて10%の団が独自の活動を実施し、炊き出しやセーフ・フロム・ハームの読み聞かせ、活動資材を使った環境マークプログラムなどに取り組んでいます。



<事例紹介> - 愛知連盟 名古屋第86団 -

「レジ袋によって命を落とす動物達」をテーマに、環境問題について話をし、「輪ゴムに4本のひもを付け空き缶・ペットボトルを回収する」環境ゲームを実施しました。

(2020.03.09)